



編集・発行/品川区地域振興部商業・ものづくり課

1月・3月・5月・8月・10月発行

しながわ
No.186

産業ニュース



2018年(平成30年)10月

〒141-0033 品川区西品川1-28-3 品川区立中小企業センター2階

TEL.5498-6340 FAX.5498-6338

イノベーションシティ品川へ 五反田バレー始動!



(一社)五反田バレー
と
連携協定締結



近年、五反田から大崎にかけてのエリアは、区内のAI・IoT等のベンチャー企業・スタートアップ企業の多くが集積していることから「五反田バレー」と呼ばれています。品川区は平成30年7月25日(水)、(一社)五反田バレーと連携協定を締結し、五反田地域の創業支援、企業の成長支援、ネットワークづくり、情報発信などを、今後、同法人と連携して行っていきます。



設立発表会・調印式

7月25日(水)の設立発表会で協定調印式を実施しました。調印式に出席した濱野区長は、「五反田バレーはシリコンバレーのようなITの集積地にしたい。昔、区役所の周りはトンテンカンしていた小さな工場ばかりだった。いまは商業が盛んな街になっている。そして、五反田、大崎は先端技術の街にもう一度、生まれかわった。品川区の五反田ではなく、日本の五反田といわれるように支援していきたい。品川区を先端の街として伸ばしてもらいたい」と期待を込めて語りました。また、(一社)五反田バレー代表理事で株式会社マツリカの黒佐英司・代表取締役は会見し「どんどん参画してもらい、スタートアップと言えば五反田バレーと言われるようになりたい」と語りました。

連携した今後の取り組み

1. 創業支援に関すること。
2. 企業の成長支援に関すること。
3. 企業や行政の枠を超えたネットワークづくりに関すること。
4. 情報発信および広報活動に関すること。

一般社団法人 五反田バレーの紹介

代表理事: 株式会社マツリカ(事務局) / free株式会社
理事: 株式会社コナラ / セーフー株式会社
株式会社トレタ / 株式会社よりそう

設立の経緯

(一社)五反田バレーは、街の活性化を通じ、互いに相乗効果をもたらすとともに、社会課題を解決するスタートアップコミュニティへの発展を目指すことを目的として、五反田を本拠地とするベンチャー企業6社が中心となり設立されました。また、今回の協定締結により、「五反田バレー」の認知度アップと五反田のブランディングによる更なる企業集積を図るとともに、ネットワーク構築による品川発の新たなイノベーション創出をめざします。

代表理事 黒佐様(株式会社マツリカ代表取締役)からのコメント

(一社)五反田バレーでは、企業間や地域とのつながりを強化することで、社会課題を解決したい人材や企業を増やし、五反田を今以上に最先端のテクノロジーが集積する街にしていきたいと考えています。昨今、五反田がスタートアップの集まる街として注目が集まるようになってきましたが、まだ一般的には認知されていません。五反田バレーがスタートアップ企業と外部とのコミュニケーションのハブになることで、「スタートアップといえば、五反田」と言われるようにイメージアップを図っていききたいと思います。



理事企業の広報担当様に五反田バレーについてお伺いしました

Q1. (一社)五反田バレー設立のきっかけ

A1. 2016年11月に「起業しやすい街」として、メディアに取り上げていただいたのがきっかけです。

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO09782610R21C16A1X11000/>
多くのスタートアップと五反田という街にメリットが波及するコミュニケーションのハブになることを目指して社団法人を設立しました。より多くの人々がチャレンジしやすい環境を作り、理事企業6社を含めた五反田のスタートアップから沢山のユニコーン企業を輩出していきたいと思えます。

Q2. 理事企業同士のつながりのきっかけ

A2. 「五反田ITベンチャー広報会」という理事企業6社が所属するPR団体での活動や、HR会など職種別の横のつながりが元々ありました。加えて、2017年に五反田にある日野学園での中学生向け職業教育の機会

や、品川区が主催されるスタートアップ向けのイベントの開催、他には大企業や地元住民からも連携したいとご要望をいただくなど、行政や地域からお声がけいただいたイベントもさらに連携を強めるきっかけになりました。

Q3. (一社)五反田バレー様からみた五反田の良さ

A3. 賃料が安い、職住が近い、交通の便が良いことが五反田の魅力です。その他、美味しく安い飲食店も多いことが若手のお財布にも優しいエリアと感じます。

Q4. 今後の(一社)五反田バレーとしての取り組み予定

A4. 職種ごとの勉強会や、会員企業・行政・地域のお役に立てるイベントなど開催していきたいです。プレゼンスを上げて資金調達や起業しやすい機会が増えるような取り組みや、経営者同士が相談しやすい場、大小の企業規模関係なくイノベーションの機会創出に取り組んでいきたいと考えています。